
ゴッド・イーター

ILUMA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ゴッド・イーター」

【ZPDF】

N6109

【作者名】

ILLUMA

【あらすじ】

脳内妄想の感じの小説。 続きませんし書きません。

咆哮。

地を揺らし、空を揺らし、人の命のともし火すらも
その叫びによつて揺らし消す。

「ふう・・・なんとかなつたか」

そういう、巨大な剣を肩に担ぎ上げながら息をつく。
総勢10人の男女で構成された一団が、巨大な生物を取り囲む。
チエスのKingのような顔を持ち、その肢体は獅子のそれを連想
するそれは
横たわり微動だにしていない。

「まさかピターがこんな所に出るとは思わなかつたが手負いで助か
つたな。ジャック」

「ああ・・・しかしピターとはな・・・とりあえず捕食しろ。レア
ものが出来れば御の字だ。」

ジャックと呼ばれた短剣を携えた男は幾分、背の小さい細身の男だ
つた。

「ピターと呼ばれた”それ”を念入りに見ていた隊員の一人が焦つた
ような顔で巨剣の男に声をかける

「ノザキ隊長、ピターの内部に生体反応が・・・」

「なんだと？生きたままアラガミを丸呑みにしたつてのか・・・？」

全く・・・とんだ暴食猫だな・・・

全員臨戦態勢を取れ！腹あ掻つ捌くぞ！」

数名の隊員がピターを取り巻き、ジャックとノザキがそれぞれ剣を上段に構える。

生体反応にしては動きがない。そう思つたノザキは一つの可能性を考えた。

人間を丸呑みにした可能性は・・・？

「ジャック、中の”何か”を傷つけないよう気をつけろ・・・」

「ああ・・・了解した・・・」

返事をして間をおかず、一人は息を吸い込む。

吸い込んだ息を吐かずに、その口を噤つぐんだんだと同時に縦に剣を振り下ろす。

対アラガミ特有の斬撃音を響かせながら、ピターだったものの腹にぱっくりと新たな口が開く。

ドチャッ

「おー・・・ノザキ・・・」いつあ一体・・・

出てきたモノを見ている全員の顔に、その現状は恐怖と驚愕の色を映し出していった。

そうしてこの世界は今日もまた続していく。

一握りの選ばれた人間と、選ばれたが故に野に下つた人間の
それぞれの物語が。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6109/>

ゴッド・イーター

2010年10月11日03時43分発行